

2026年1月30日

日清製粉グループ 第3四半期連結累計期間決算、通期連結業績予想

営業利益・経常利益は減益も、業績は回復傾向にあり、直近3カ月(10月～12月)は増益。

通期連結業績予想については、直近予想を据え置き。

政策保有株式は順調に縮減、200億円を上限とする自己株式取得も実施中。

[2026年3月期第3四半期連結累計期間決算]

売 上 高	6,539億55百万円	(前年同期比 101.0%)
営 業 利 益	374億98百万円	(前年同期比 95.0%)
経 常 利 益	412億95百万円	(前年同期比 98.5%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	229億21百万円	(前年同期比 75.1%)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2026年3月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、海外製粉事業における小麦相場の下落や為替換算の影響等があったものの、エンジニアリング事業における大型工事の増加や酵母・バイオ事業、及び中食・惣菜事業等の販売が堅調に推移し、6,539億55百万円(前年同期比101.0%)となりました。利益面では、国内製粉事業における水島工場稼働に伴う立上げ費用の発生、海外製粉事業での出荷減及び為替換算の影響等による減益、及びメッシュクロス事業における出荷減等により、営業利益は374億98百万円(前年同期比95.0%)、経常利益は412億95百万円(前年同期比98.5%)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、政策保有株式の縮減を進めたものの、インドイースト事業での固定資産の減損損失計上により、229億21百万円(前年同期比75.1%)となりました。

[2026年3月期通期連結業績予想]

売 上 高	8,700億円	(前期比 102.2%)
営 業 利 益	470億円	(前期比 101.3%)
経 常 利 益	500億円	(前期比 101.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	300億円	(前期比 86.5%)

当第3四半期(10月～12月)は北米を中心とした海外製粉事業、及び食品事業が好調に推移したこと等により、営業利益は前年同四半期を上回り、業績は想定通り回復基調に転じております。2026年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高は8,700億円(前期比102.2%)、営業利益は470億円(前期比101.3%)、経常利益は500億円(前期比101.6%)、親会社株主に帰属する当期純利益は300億円(前期比86.5%)と、昨年10月30日に公表した業績予想を据え置いております。

また、当期の配当につきましては、当初の予定通り前期より5円増額の1株当たり年間60円を予定しております。

以 上